※令和４年度以降入学生用

学校番号	３０２４

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」（教育図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・楷書、行書に加え、篆、隷、草と様々な書体を学び、書で表現する能力を身につけます。
・古典の臨書学習を基盤とし、自分の気持ちを書で表現する創作活動に取り組みます。
・書が日常生活の中に多く関わっている事に関心を持ち、書の伝統と文化に親しみを持って書のよさや美しさを味わいましょう。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化に深く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。

（１）　書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に付けるようにする。

（２）　書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。

（３）　主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。 ・書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための技能を身に付け、表している。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。	主体的に書の表現および鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	篆書の古典に学ぶ	・漢字の起源である篆書の成立 ・金文の鑑賞と臨書 ・石鼓文の鑑賞と臨書 ・泰山刻石の鑑賞と臨書	a:【知】篆書の成立と、複雑な造形の書の美と時代・風土との関りについて理解を深めている。 【技】篆書の基本的な用筆方法である蔵鋒・中鋒を身に付け表している。 b:篆書の用筆・運筆、字形、全体の構成などから書のよさや美しさを感じ取り、表現を工夫している。 c:篆書の成立とその表現技法に関心を持ち、主体的に表現および鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。	プリント	作品	観察 振り返り プリント
	隷書の古典に学ぶ	・隷書からどのように発展したのか ・曹全碑の鑑賞と臨書 ・乙瑛碑の鑑賞と臨書	a:　【知】隷書の成立と、隷書の線質・字形と時代・風土との関りについて理解を深めている。 【技】隷書の基本的な用筆である蔵鋒・波磔を身に付け表している。 b:　隷書の古典の価値とその根拠、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、書のよさや美しさを感じ取り、表現を工夫している。 c:隷書の成立とその表現技法に関心を持ち、主体的に表現および鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。	プリント	作品	観察 振り返り プリント

※令和４年度以降入学生用

	草書の古典に学ぶ	・流れるような勢いある表現を学ぶ ・書譜の鑑賞と臨書 ・自叙帖の鑑賞と臨書	a:　【知】線の表情に様々な変化が出せることを理解している。 【技】変化に富んだ字形や筆の弾力を生かす用筆方法を身に付け表している。 b:変化に富んだ草書の美しさを味わって、字形や線質の多様な表現を工夫している。 c:草書の美とその表現技法について関心を持ち、主体的に表現および鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。	プリント	作品	観察 振り返り プリント
	漢字の書の制作	・漢字一字書の制作 書体や書風に即した用筆、運筆、字形、全体の構成を工夫しながら表現する	a:【知】漢字の書を構成する様々な要素や、各書体の古典の特徴と用筆・運筆との関りについて理解している。 【技】創造的な書表現にするために効果的な表現の技能、変化や調和などによる全体構成の技能を身に付け表している。 b:漢字の持つイメージに近づけるよう表現を構想し工夫している。 c:・文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について 関心を持ち、創意工夫し意欲的に取り組んでいる。 ・互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	プリント	作品	観察 振り返り プリント

※令和４年度以降入学生用

後期	刻字作品の制作	・漢字1～2文字を刻字板に転写し、彫る 感興や意図に応じた個性的な作品を工夫しながら表現する	a: 【知】刻字を構成する様々な要素や、書体・書風や配字などによる表現の効果を理解している。 【技】目的や用途、意図に応じた効果的な表現の技能を身に付け表している。 b:作品の価値、生活や社会における書の美の効用と現代的意義について考え、意図に応じた創造的な表現を構想し工夫している。 c:・自分で書いた文字をさらに刻みつけることによって、どのような表現効果が出るのかに関心を持ち、作品制作に意欲的に取り組んでいる。 ・互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	プリント	作品	観察 振り返り プリント
	生活の中の書	・お正月短冊飾り 暮らしの中に書を生かす	a:暮らしの中に書を生かすことを理解し、創造的な書表現にするために効果的な表現の技能を身に付け表している。 b:生活や社会における書の美の効用を考え、書のよさや美しさを味わって、お正月飾りにふさわしい表現を工夫している。 c:暮らしの中に書を生かすことに関心を持ち、作品制作に意欲的に取り組んでいる。	プリント	作品	観察 振り返り プリント

※令和４年度以降入学生用

	漢字仮名交じり書の学習 裏打ち作業	・半切3分の1サイズ作品制作 漢字と仮名の調和による全体の構成を工夫しながら表現する ・作品を裏打ちし、パネルに貼って完成させる ・自分の作品について工夫した点やポイントを発表 ・相互批評会	a: 【知】漢字仮名交じり書を構成する様々な要素や、名筆や現代の様々な書の表現と用筆・運筆との関わりについて理解している。 【技】意図に応じた効果的な表現の技能、漢字と仮名の調和などによる全体の構成の技能を身に付け表している。 b:創造された作品の価値を考え、書のよさや美しさを味わい、感興や意図に応じた個性的な表現、現代に生きる創造的な表現を構想し工夫している。 c:・文字の選定、作品の構想、完成に至る創作活動について関心を持ち、創意工夫して意欲的に取り組んでいる。 ・互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	プリント	作品	観察 振り返り プリント

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度